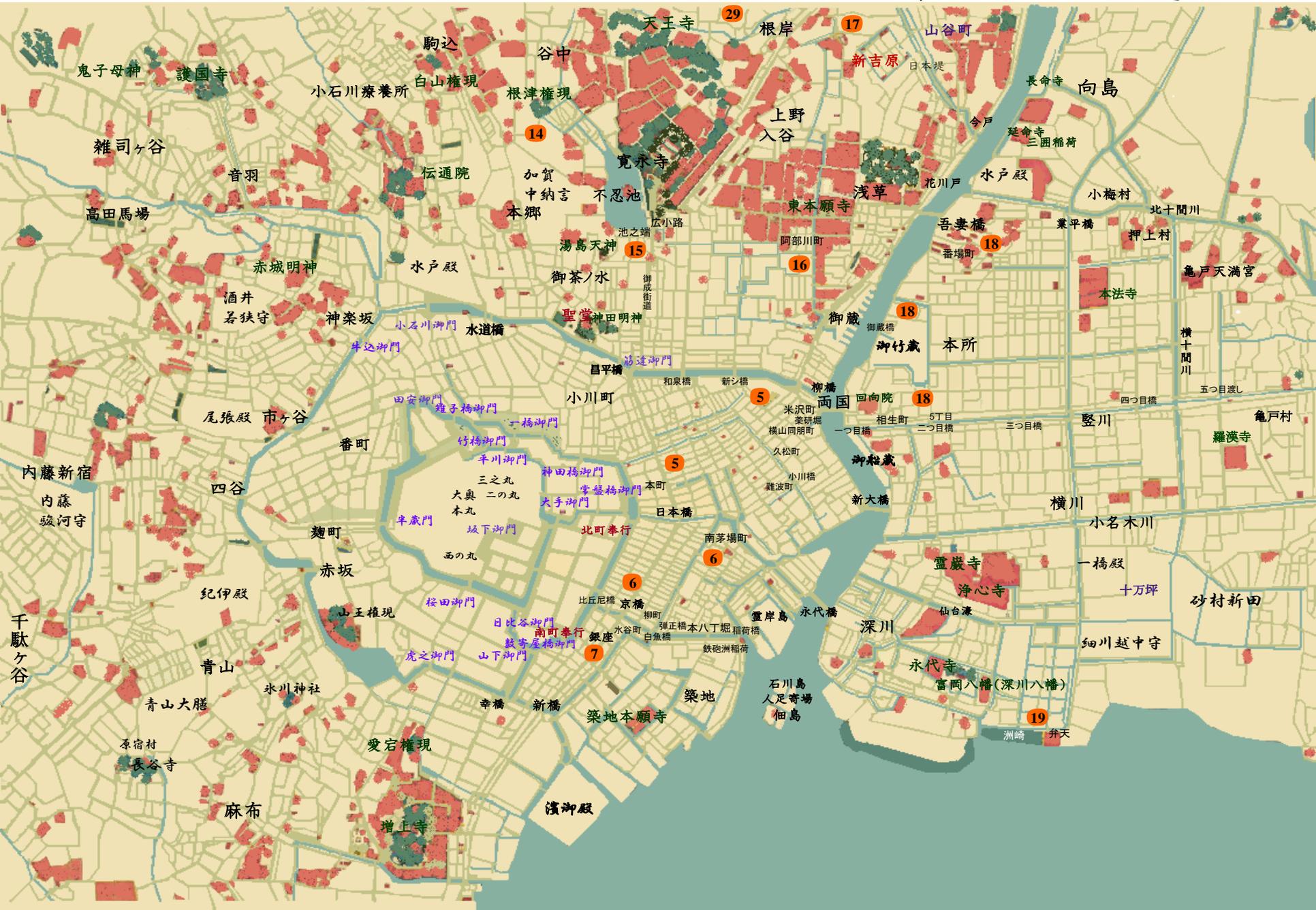


# 天眼通お葛父娘捕物ばなし 大名もどり 木村友馨



ばんばちょう  
北本所番場町

せいきち  
天眼通の齊吉（才吉）（岡っ引） — お夕（女房）

すぎき  
洲崎

いづつ いぞう  
井筒 井蔵（岡っ引） — お染（女房）、お蔦（養女）

ねぎし  
根岸の里

ごへい  
吾平（板前）、お勝（女中） — りょうすけ  
良助（亡き夫）、お葉（元女中）

いけのはた  
池之端

またはち  
又八（下ッ引） — お美（女房 髪結い）、お篠（娘）

あべかわちょう  
浅草阿部川町

さだきち  
定吉（お美の父）、さじ  
佐治（下ッ引）

よねざわちょう  
両国米沢町

せんしんどう あさたろう  
洗心堂 朝太郎（茶道具屋）

ほんちょう  
日本橋本町

ずいおう  
瑞翁（祖父） — ゆりえ  
揺枝（亡妻）、かめすけ  
亀助（奉公人） — お滝（女房）

みなみかやばちょう  
南茅場町

も ざ えもん  
茂左衛門（大番頭）、えいじ  
栄二（手代頭）

ほんはっちょうぼり  
本八丁堀

ぶんじ  
文治（丁稚頭） 、いときち  
糸吉（丁稚 麻太郎の義弟）、かんすけ  
勘助（丁稚）

やなぎちょう  
京橋柳町

ゆ さ せい の すけ  
遊佐清之介（北町定廻り）、ゆ さ せい ざ えもん  
遊佐清左衛門（父） — ひさえ  
久江（妻）

みずたにちょう  
水谷町

ち か  
文之助（亡次男）、千加（久江付の女中）、にきち  
仁吉（老中間）

すずはらかずま  
鈴原数馬（亡同心）

げんあん  
源庵（医者） — けい  
お景（女房 産婆）、しょうあん  
小庵（息子 小児医）

こめはち たつみ  
米八 (辰巳芸者)

らんさい  
蘭斎 (女医師)

よしだまごべえ ふじさわじゅうご  
吉田孫兵衛 (北町筆頭同心)、藤沢重吾 (北町定廻り)

ちようすけ まつきち とみじろう  
長助 (池之端の岡っ引)、松吉 (下っ引き)、富次郎 (下っ引き)

やすさち でんすけ こきんた まわし やへい  
安吉 (日本橋の岡っ引)、伝助、小金太、蝮の弥平 (亡き親分)

つるまつ つるじ  
鶴松 (掏摸) — お伝 (女房)、鶴次 (首掛け芝居 掏摸)

たるきゅう たすけ ゆきな  
樽久 太助 (醤油屋の息子) — 雪菜 (女房)

べに屋六両 まさごろう やえ かへい すみ  
べに屋六両 正五郎 (婿養子) — 八重 (跡取り娘)、嘉平 (番頭)、澄 (元女中頭)

うえすぎやうざん きたやまいっぺい はやみずかんべえ  
上杉鷹山 (元米沢藩主)、北山逸平、速水勘兵衛

おやの こうふきんぼん  
おやの (甲府勤番の妾)

あらかきおりべ とうじゅうろう  
荒木織部 (生石藩国家老)、藤十郎 (息子)

おぎわらしやう ざえもん  
萩原庄左衛門 (生石藩勘定頭)

いぶきしんのすけ ささきしんいちろう さゆり  
伊吹真之介 (生石藩勘定方 = 佐々木真一郎)、早百合 (姉 = 百合)

やまべのぶかつ  
山辺信克 (元生石藩士)